3月14日(土)
装備が充実
～新型消防車を配備～

伯耆町消防団第6分団に新型消防車が配備され、3月14日（土）に車両の引き渡し式が行われました。

今回配備された消防車は、小型動力ポンプ積載車で総務省から伯耆町に無償で貸し出しされ、旧型の消防車と入れ替わりで伯耆町消防団第6分団に配備されました。

当日は大江団長から第6分団長へ目録が手渡され、「多機能型消防車には、充実した資機材が装備されているので早く操作に慣れて運用してほしい」と訓示しました。

自然災害への不安が高まり、地域に寄り添う消防団の活動が注目される中、この多機能型消防車が配備されたことで、町の防災活動の充実が期待されます。

▲装備品の説明を受ける団員

▲引き渡し式の様子

3月16日(月)
帰ってくるのを楽しみに
～岸本小学校児童が稚魚を放流～

長の日野川河川敷で3月16日（月）、岸本小学校3年生が鮭の稚魚を日野川に放流しました。

岸本小学校3年生は「岸本の宝物」という学習で鮭の稚魚を飼育しています。児童が育てた鮭の稚魚は、昨年11月に採卵され12月からエサやりや観察を続けてきました。

この日は、学習のまとめとして3年生の登校日に、児童が育てた稚魚と日野川水系行業組合が育てた稚魚合わせて1500匹を放流しました。

稚魚が成長し、日野川へ戻ってくるのは4年後。児童たちはその姿を楽しみに稚魚を見送っていました。

▲帰ってくることを楽しみに放流します

▲児童たちが育てた鮭の稚魚

3月25日(水)
地域貢献とスポーツでつながる絆
～荘連合区・伯耆ソフトテニスクラブが「日本海新聞ふるさと大賞2019」受賞～

地域の活性化とスポーツの発展に貢献した個人・団体に贈られる「日本海新聞ふるさと大賞2019」表彰式が3月25日（水）、伯耆町役場で行われ、地域貢献賞に荘連合区、スポーツ功労賞に伯耆ソフトテニスクラブが選ばれました。

地域貢献賞を受賞した荘連合区は、地域活性化を図るため荘村づくり委員会を組織し、住民の意識調査をもとに村づくり計画を策定。各種イベントを開催し、中でも「荘じげ祭」は集落外からも来場者が訪れる荘を代表するイベントとなり、自治会活動、地域活動に積極的に取り組んでおられます。

スポーツ功労賞を受賞した伯耆ソフトテニスクラブは、中国地区小学校ソフトテニス選手権大会、中国地区小学校インドアソフトテニス大会に主要選抜選手として出場し、団体戦2位となるほか、全日本小学校ソフトテニス選手権大会に出場するなど、県内外で活躍しています。

受賞した、荘連合区長の大下修一さんは「これからも地域の絆を大切に、活性化に取り組んでいきたい」と話しました。

▲日本海新聞ふるさと大賞2019を受賞された皆さん